

授業科目 スポーツ・実践（前期 バドミントン）

【担当教員名】 高橋 和将	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○		◎	○	○

【概要・一般目標：G10】
QOLを支える人材として、生涯にわたり各分野、各ライフステージにおいて自分に適した運動・スポーツを継続して楽しむ能力を養う。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 保健・医療・福祉・スポーツのプロフェッショナルとして、自らのスポーツの必要性について理解する。
2. ネット型スポーツの運動特性について理解する。
3. バドミントンの基本的技能を習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	講義
2	バドミントンの運動特性	1・2	講義・実技
3	ルール、グリップの握り方、身体の使い方	1・2・3	実技
4	バドミントンラケットを使ったゲーム（バドミントンラケットに親しむ）	1・2・3	実技
5	バドミントンラケット・シャトルを使ったゲーム（ラケットとシャトルに親しむ）	1・2・3	実技
6	バドミントン技能習得（クリア）・クリアを使ったゲーム	1・2・3	実技
7	バドミントン技能習得（ハイクリア）・ハイクリアを使ったゲーム	1・2・3	実技
8	バドミントン技能習得（ドライブ）・ドライブを使ったゲーム	1・2・3	実技
9	バドミントン技能習得（ドロップ）・ドロップを使ったゲーム	1・2・3	実技
10	バドミントン技能習得（ロブ）・ロブを使ったゲーム	1・2・3	実技
11	バドミントン技能習得（ヘアピン）・ヘアピンを使ったゲーム	1・2・3	実技
12	バドミントン技能習得（サイドバイサイド）・サイドバイサイドを使ったゲーム	1・2・3	実技
13	バドミントン技能習得（トップアンドバック）・トップアンドバックを使ったゲーム	1・2・3	実技
14	生涯スポーツにつながるバドミントン	1・2・3	実技
15	まとめ	1・2・3	講義・実技

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席・授業態度・技能評価・レポートなどを総合的に評価する	【履修上の留意点】 開講人数 20～40名
--	--------------------------